



会報

シルバー

かんら

第 2 号

発行日 2017年12月15日

発行者 一般社団法人
甘楽町シルバー人材センター
理事長 柴山十三郎

〒370-2202

群馬県甘楽郡甘楽町大字小幡684-1
TEL0274-74-3475 FAX0274-74-3750



芝と花の公園

総合公園は、平成10年3月に完成した公園です。野球場、テニスコート、弓道場、アドベンチャートリム、ローラー滑り台など、年代を問わず楽しめます。

中央を流れる雄川は、公園と協調して一体のゾーンが形成され、川遊びを楽しむこともできます。

野鳥や昆虫も豊富で、園路は早朝から夕方まで散歩する人の姿が絶えることはありません。

周辺には名勝「楽山園」や武家屋敷もあります。



長年ありがとうございました(永年表彰)

5月31日、平成29年度定時総会が、ら・ら・かんら(甘楽町図書館)で開催されました。会員の永年表彰の後、来賓の茂原町長、富岡副議長様からご祝辞をいただき、議事に入りました。

平成28年度事業報告及び決算報告、平成29年度事業計画・予算、役員選出、すべて原案どおり承認

多様な就業機会の確保・提供

定時総会を開催

されました。

承認された事業計画では、高齢者の受け皿としての機能を十分に果たせるよう行政機関との連携を密にし、多様な就業機会の確保・提供など地域に根ざした魅力ある事業を展開することを基本方針としています。

永年表彰は、昨年の総会に続いて

28年度事業実績

項目	本年度	前年比
会員数	146名	10名
うち男性	70名	5名
うち女性	76名	5名
受注件数	2,182件	179件
就業延人員	24,765人	1,322人
配分金	82,867千円	▲3,277千円
契約金額	93,421千円	▲3,053千円

会計状況

科目	28年度決算額 (単位:千円)	29年度予算額 (単位:千円)
経常収益	109,220	112,642
受託事業収益	71,399	72,881
受取会費	255	280
受取補助金等	12,250	14,478
町委託金等収益	25,242	25,000
雑収益	74	3
経常費用	111,629	112,642
事業費	106,032	107,818
管理費	5,597	4,824
予備費	0	29,071
当期経常増減額	▲2,409	▲29,071
前期繰越収支差額	31,480	29,071
次期繰越収支差額	29,071	0

て3回目です。任期は2年です。

また、選出された新役員は次のとおりです。

顧問・甘楽町長 茂原荘一、理事長・柴山十三郎、副理事長・江原宏、常務理事・新井貞行、理事・横山孝一、同・松井均、同・浅香肇、同・浅香徳次郎、同・吉田義昭、同・丸澤よし子、同・田村クニ子、監事・山田利和

(敬称略)



新役員です よろしくお願ひします

今年は
スカイツリー
会員互助会総会

定時総会に引き続き会員互助会の総会が行われ、平成28年度事業報告及び会計報告、平成29年度事業計画、すべて原案どおり承認されました。

29年度事業計画では、昨年続きグラウンドゴルフ大会及びバレーベキューでの親睦会、東京スカイツリーへの日帰り旅行、忘年会が

計画されました。多くの会員の皆さんが参加し、互助会活動を盛り上げていただくようお願いいたします。

最後に、特殊詐欺に十分注意するためにDVD「詐欺被害にあわないために」を見て、認識を新たにしました。閉会となりました。



実家やお墓の管理はお任せ

ふるさと甘楽安心サポート事業

甘楽町を離れていても、大切な実家やお墓をきれいに管理したいという方のため、甘楽町内にある

実家の外観見回りや、お墓の清掃をシルバーが行います。

お墓の管理は、年3回清掃を行います。実家の管理は、月1回の見回りと年3回植木管理や除草を行います。

事業は、町にふるさと納税をされた金額により選べる管理作業となっており、町とシルバー人材センターが連携して行う事業です。



緑地・造園支援講習

樹木の剪定等の基礎知識や草刈機の基本についての講習会が、南牧村を会場に4日間開催されました。これは県の高齢者活躍人材育成事業として行われ、甘楽町シルバーから7名が参加し、終了しました。

8月30・31日は剪定と整枝の基礎知識と実習、9月1・5日は刈払機取扱作業安全衛生教育の学科と実技講習がありました。

次年度以降もこのような講習は計画されますので、機会があれば積極的に受講し、スキルアップをお願いします。

うっかりミスに注意

9月9日、県連合会主催の安全・適正就業研修会が、藤岡市総合学習センターで開催され、会員18人で参加しました。

当日は、土曜日にもかかわらず、大勢が参加し、安全・適正就業の現状と講演に熱心に耳を傾け



しっかりと勉強しました

ていました。講演では、「うっかりミスはなぜ起きる」と題して県立県民健康科学大学の五十嵐准教授から具体的事例を交えて話がありました。

刈り払い機やチェーンソー等の使用でのうっかりミスは事故につながってしまいます。気を引き締めて安全作業を徹底します。

また、使用機械・道具の手入れも重要で、安全に使用するためのメンテナンスを日常は個人で、月に一度(毎月最終金曜日)はみんなで一斉にすることにしました。



道具・機械の整備点検は重要です

安全作業は服装から

安全第一職場を

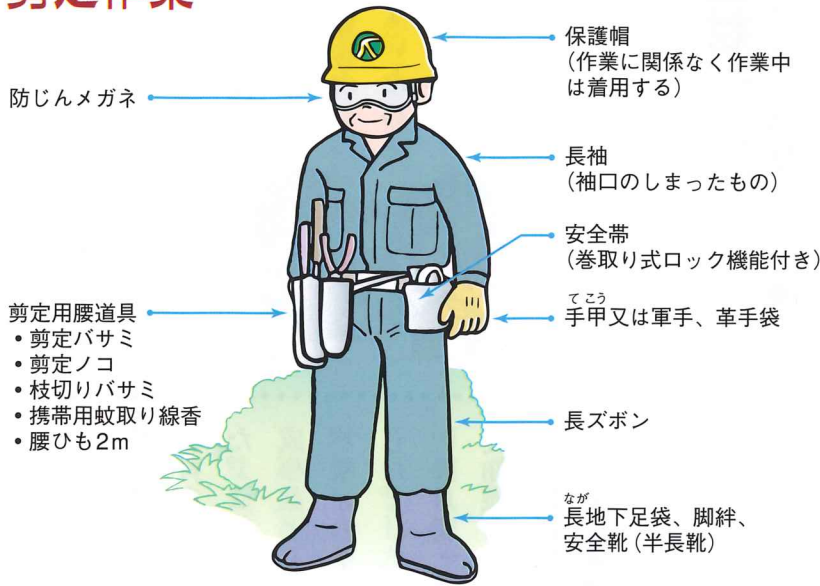
安全就業は、何よりも優先されるべきものです。安全対策に十分過ぎるということはありません。作業現場状況、適した服装、整備された道具・機械等あらゆる観点から安全就業を実践しなければなりません。

だるまに安全祈願

県シルバー人材センター連合会 安全・適正就業委員会は、事故防止のための取り組みとして、傷害事故（1か月以上入院）が発生した場合、注意喚起の「イエローだるま」を飾り安全意識を高めるために活用してもらうことにしてい

ます。甘楽町シルバー人材センターにも事務所に「イエローだるま」が設置されました。夏の草刈作業中足がけがした会員がいましたので、作業の安全に、より注意をしてもうするため、6か月間飾りまです。だるまを見て改めて意識を集中してくれくれも安全第一に！

剪定作業



草刈作業

[作業前の刈払い機の点検]

- ① 取り付けネジはしっかり締める。
- ② 金属刃、又はナイロンカッター (注) 安全ガードの不備・不良がないか確認。
- ③ エンジン部の油もれなどがないか確認する。

虫よけ器具 蜂・害虫刺され防止

- ① 蚊取り線香皿又は携帯用ノーマット
- ② スキンガード「虫よけスプレー」
- ③ 蜂駆除スプレー



“イエローだるま”

シルバー人材センターとは

シルバー人材センターは、会員

に働く機会を提供することを通じて、会員の生きがいの充実や生活の安定、また、地域社会の発展や現役世代の下支えなどを推進することを目的としています。高齢化や労働力人口の減少の更なる進行が見込まれる中で、シルバー人材センターの果たす役割はますます重要となっております。シルバー人材センターにはその役割を果たすことが求められています。

シルバー人材センター
(愛称 生き生きセンター)



シルバー人材センターの目的

☆高齢者の生活の充実

○高齢者に働く機会を提供し、生きがいの充実や健康の維持・増進を図る。

○高齢者に働く機会を提供し、高齢者の経済的な生活の安定を図る。

☆地域社会への貢献

○高齢者が地域社会の担い手として活躍することを通じて、地域社会の維持・発展を図る。

○育児、介護などの現役世代を支える分野で高齢者が働くことを通じて、現役世代の活躍を推進する。

○サービス業等の人手不足分野で高齢者が働くことを通じて企業などの人手不足の解消を図る。

シルバー人材センターの仕組み

○シルバー人材センターは、企業、家庭、官公庁などから業務

を受注し、それらを請負、委任、派遣、職業紹介の形態により、臨時的かつ短期的または軽易な就業を希望する会員に、働く場として提供します。

○シルバー人材センターは、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、都道府県知事が指定します。

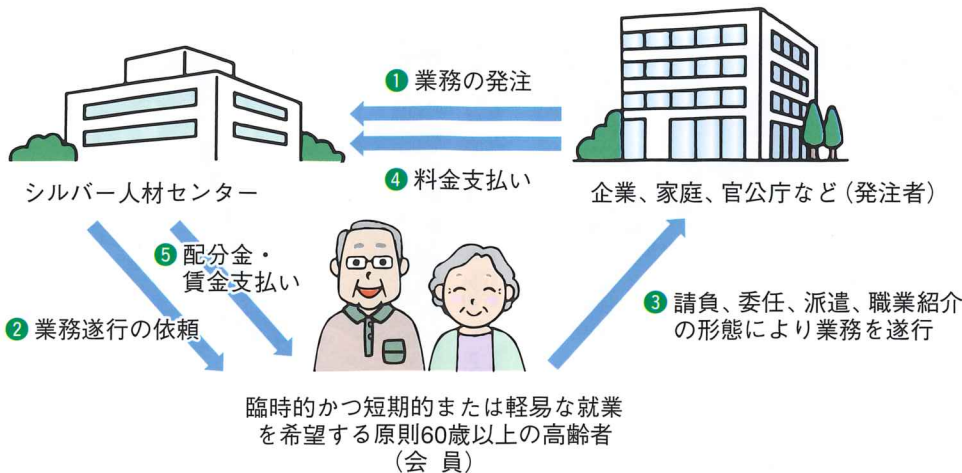
シルバー人材センターが提供する業務

☆臨時的かつ短期的または軽易な業務

○シルバー人材センターが会員に提供する業務は、臨時的かつ短期的または軽易な業務です。

※臨時的・短期的な業務は、おおむね月10日程度以内の業務で、軽易な業務は、おおむね週20時間を超えないことを目安にした業務です。

○したがって会員の就業は、現役世代の労働者などが1人で行う業務を、複数の会員が時間や日にちで分担して行う方法（ローテーション就業）が基本となります。



シルバー人材センターのイメージ

グラウンドゴルフ& バーベキュー大会

7月14日、会員互助会（高麗紀一会長、会員数146名）では、第2回グラウンドゴルフ大会を実施し、会員相互の交流を図りました。例年行われているバーベキュー交流に合わせ、今回も開催となりました。



左から国府田さん、河田さん、山田さん

当日は、天候にも恵まれ、会員及び事務局職員40人が参加し、グラウンドゴルフを楽しみました。前回は事務所前の旧校庭で、土のグラウンドでの開催でしたが、今回は総合公園多目的広場に会場を移し、芝生の上でのプレーで、微妙なアンジュレーションに悩まされる大会となりました。

試合は、16ホールで行われ、珍プレー・好プレーの続出で大いに盛り上がりました。この大会でしかプレーをしない会員がほとんどでしたが、好評で次回の開催も期待されます。

なお、上位入賞者は、次のとおりでした。

- 優勝 河田 秀行さん 42打
- 準優勝 山田 文子さん 43打
- 第三位 国府田 勇さん 45打



開会式は事務所前で

夕方からは、甘楽ふるさと館で恒例になったバーベキュー交流を行いました。日頃は異なった職場で働く会員同士、BBQを囲んで親睦を図りました。

また、交流会の中で、グラウンドゴルフ大会の成績発表及び表彰式が行われ、優勝をはじめ、各賞が発表されると、ひととき歓声が上がり、交流会に花を添えました。



どきやかにB・B・Q



東京スカイツリーは雲の中

地上350メートルは雲の中でした。ましてやその上の展望台も雲の中。窓から見える景色は白一色。

10月11日、会員等42名参加で行われた互助会の親睦旅行のメインの東京スカイツリーの見学は、残念ながら天候に恵まれませんでした。

予報では、夏日になるとされた秋の一日、朝7時に中小路駐車場から大型バスに乗車し出発。行程どおり順調に進む車窓からスカイツリーが一向に見えず、嫌な予感。予感的中してしまいました。到着後、快晴の背景で記念撮影し、いよいよ雲中の展望台へ。

すぐに降りて、ソラマチを散策、土産を買い求め、食事処のすしざんまいへ向かいました。食後

は話題の築地市場の散策も出来、仲見世ととり浅草寺へお参りしました。皇居東御苑を散策するころには、あたりは暗くなってきました。

食べて飲んで、よく歩いた1日でした。会員同士の親睦も図れた楽しい旅行となりました。



皇居東御苑

昨年続き、2回目で今回は、日帰り旅行でした。来年も実施されるよう期待してバスを降りました。

企画から準備、当日の手配や連絡と互助会役員の皆さんには大変お世話になりました。



“すしざんまい” 大変美味しくいただきました

会員を募集

シルバー人材センターでは、会員を随時募集しています。会員の皆さんのお知り合いやご近所等で、余暇を有意義に過ごしたいけど何をしたらよいかわからず時間を持て余している方はいませんか。そのような方がいましたら、是非声をかけてください。シルバーの入会は個人の自由ですので、入会しなくてもかまいません。シルバー人材センターの内容を知ってもらうだけでも良いのです。

また、センターでは、入会説明会を毎月第2水曜日にセンター事務所（旧甘楽二中）で開催しています。

お気軽に、お出かけください。



産文祭でPR

11月3日開催の町産業文化祭に参加しました。

賑わう祭り会場で、会員募集やシルバー啓発パンフレットを配布し、PR活動を展開しました。

会員の協力により、用意した配布品を来場された皆さんに趣旨を説明しながら配布し、お祭りに参加しました。

会員の皆さんお疲れさまでした。



賑わう文化祭でPR



ほっと一息

花いっぱい

ふれあいの丘、文化会館駐車場西側斜面花壇と歩道分離帯に今年もビオラ800株を植えました。

これは、シルバー人材センター独自の事業で、昨年につき3回目となります。産業文化祭に合わせ、道行く大勢の方に楽しんでいただくよう、10月26日に植えました。花は来年5月頃まで見ることが出来ます。ぜひ、ご覧ください。

安全スローガン 募集中

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会では、毎年7月を「シルバー人材センター事業安全・適正就業強化月間」と定め、シルバー人材センター事業における会員の就業中及び就業途上の事故の撲滅を目指し、安全就業の着実な成果を期するため、安全就業対策の総点検等各般にわたる事項に取り組んでいます。

この一環として、安全就業に係る意識の啓発に活用するスローガンを定めることとし、広くシルバー人材センター等の関係者から安全スローガンを募集しています。

この取り組みに甘楽町シルバー人材センターも参加していきますので、皆さんの多くの応募をお願いします。

事務所に応募箱と応募用紙を用意しましたので、応募してください。傑作をお待ちしています。



編集後記

会報「シルバーかんら」の第2号ができました。会員間の情報交換、親睦などに役立つ幸いです。

会員の皆さんの意見、体験談、個人旅行の話、短歌や俳句など、何でも結構ですから、事務局にお寄せください。皆さんとともに、この会報を作っていくと思います。よろしくお祈りします。